

期日前投票所の投票立会人を募集します

南三陸町選挙管理委員会では、有権者の皆さんに「選挙」をより身近に感じてもらうため、10月22日(日)に執行される宮城県知事選挙および南三陸町長選挙・南三陸町議会議員一般選挙における「期日前投票所の投票立会人」を募集します。

職務

期日前投票所の投票立会人の職務は、各期日前投票所において、投票が公正に行われているかどうか立ち会うものです。

期間など

今回の選挙における期日前投票所と開設日については、次のとおりです。

	期日前投票所	期間	時間
1	南三陸町役場 (マチドマ)	10月6日(金)~21日(土)	午前8時30分~午後8時
2	歌津総合支所検診室	10月18日(水)~21日(土)	午前8時30分~午後8時
3	戸倉公民館多目的室	10月19日(木)	午前10時~午後8時
4	入谷公民館和室	10月20日(金)	午前10時~午後8時
5	南方町イオン跡地仮設住宅団地第1期集会所	10月21日(土)	午前10時~午後8時

※設置する日ごと、連続した時間での立会いとなります。

※実際に立会いをしていただく日程および期日前投票所は、応募のときに希望をお伺いし、その状況に応じ決定します。

対象者 (次の全ての要件を満たす人)

- 選挙権を有する人
- 南三陸町の選挙人名簿に登録されている人
- 特定の候補者や政党などと直接関係がない人

報酬など

期日前投票所の投票立会人には、町条例に基づき、次のとおり報酬および費用弁償が支給されます。

- 報酬 9,500円 (1回につき) ※ただし、所得税の源泉控除があります。
- 費用弁償 1,000円 (1回につき)

応募

応募用紙は、役場総務課および歌津総合支所に備え付けのほか、町ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入し、選挙管理委員会事務局(役場総務課内)に直接または郵送により提出してください。

応募締切

9月13日(水) 午後5時

☎ 南三陸町選挙管理委員会事務局 ☎46-1370



「防水圏に囲まれた南三陸では、山でのよい取り組みは、里や海にもよい影響をもたらすことができる」と話す佐藤太一さん

南三陸なうな人

新庁舎の「木」に込めた 未来への想い

【佐藤太一さん】

9月4日に開庁する「南三陸町役場新庁舎」。環境に配慮した森林運営の国際認証制度FSCの「全体プロジェクト認証」取得への期待がかかる。もし、取得となれば、公共施設としては国内初となる快挙だ。このプロジェクトの立役者となっているのが株式会社佐久の専務取締役・佐藤太一さん。南三陸町で代々林業を営み、太一さんが12代目となる。

大学院で「宇宙放射線物理」の研究活動に没頭していた最中、東日本大震災が発生。博士号を取得するとともに、家業を継ぐ決断をした。そうして父親と目指したのが「新しい林業の形」であり、環境に配慮した「持続可能な林業」だった。その象徴的なものが、国際認証制度FSC認証だ。太一さんが中心となって働きかけ、2015年には町有林も含む4事業者の1,314ヘクタールが認証を取得した。

町が掲げるバイオマス産業都市構想。梁や内装、机など、ふんだんに町内のFSC材を使用した「新庁舎」には、その旗印としての期待がかかる。「将来的には町内の全部の山をFSC認証取得できるようなシステムを作っていきたい。ここがFSCの発信拠点」と話す。

太一さんの夢、そして南三陸町の描く未来が、新しくなった庁舎に詰まっている。

南三陸なう 検索 佐藤さんをもっと詳しく知りたい人は、南三陸公式ブログ 南三陸なうをご覧ください。

ネイチャーセンター準備室だより 「藻場の再生調査」

波に揺れるアラメの海中林。その奥には水面近くまで高く成長したアカモクの藻場を見ることができます。この立派な藻場は、漁協と大学、役場が共同で海に潜って藻場を再生させる取り組みを続けてきた場所です。2年前は「磯焼け」が進み、藻場が縮小していた海底でした。

磯焼けは、水温や海の透明度、栄養の不足、海藻を食べる動物の増加など、さまざまな原因が引き起こすと考えられています。今そうした場所では海藻を食べるウニの数がとても多く、新たに芽生える海藻も食べてしまうので、なかなか元の藻



場には戻りません。そこで、毎月ウニの間引きを行いながら藻場が再生していく様子を記録してきました。調査したエリアは小規模ですが、確実にアラメやアカモクが成長して藻場が再生しています。森や里がそうであるように、海も人の手を上手に加えることで生態系のバランスがとれ、自然の恵みを永く受け取ることができるのだと実感しています。

☎ 農林水産課 ネイチャーセンター準備室 ☎25-9703